

ふるる創作プログラム体験

★競技用紙ヒコーキを作ろう！★… しपोर्ट



★9月22日(日)午後1時より、小学校1年生から6年生を対象に主催事業『ふるる創作プログラム体験 競技用紙ヒコーキを作ろう！』が開催されました。当日は参加児童39名とご家族4名が工作に参加しました。また、多くの保護者の方が付添い同伴されました。

▶ 今回のプログラム体験は、競技用紙飛行機を工作して、完成した機体をじょうずに飛ばすことです。プログラム実施にあたっては、ふだんから模型制作定例会や展示会(6/15～6/16、ふるる体育館で開催)で当施設をご利用いただいております「道南模型寄合 どーなんよ」の皆様にご協力をいただきました。なかでも競技用紙飛行機に関しては参

加の皆さんと同じ小学校低学年の頃から造詣の深い、どーなんよ代表の竹原様にメイン講師としてご指導いただきました。

▶ さて、競技用紙飛行機の工作ですが、①図面が印刷されたケント紙を線の通りにハサミで切り抜き。→②接着剤で張り合わせる。…だけなのですが、正確に切り抜くことが小さな子には難しいようで時間がかかっていました。難しいところや折り目を付ける部分は講師の方々やボランティアスタッフがお手伝いしました。そしてすべてのパーツがそろったら接着です。(本格的な制作では温度や接着剤からの湿気など紙への影響を気にしながら、時間をかけてするそうです。)組み立てた人は自分の名前やワンポイントを書き込んで完成！ではありません。仕上げに翼などの角度を調整することが大事です。調整するポイントは色々ありますが、特に重要なのが主翼に「キャンバー」と言うカーブを付ける事を講師の先生から教わりました。



体育館へ移動したら、いよいよ飛行実験です。上手に飛ばせた子、さらに調整や工作が必要だった子。いろいろな方向へ飛んで行ってしまいましたが、みんな歓声をあげて

挑戦していました。

閉会式のあとに2号機・3号機が印刷されたシートを受け取って、みなさん帰路につきました。

★今回参加されたみなさんはぜひ、2号機や3号機の新しい機体を作ったり、もう一度1号機をていねいに調整して、良く飛ぶ「紙ヒコーキ作り」に挑戦してみてください。

